

一般質問

寒川 佳枝 議員

公明党議員会



女性目線での避難所運営を

Q 熊本地震の際、現地の避難所に派遣された保健師からは、避難所生活における女性ならではの課題が多く報告された。本市においては、平成30年3月に避難所運営マニュアルが策定されたが、特筆すべき点は。

A 避難所運営マニュアルは、坂出市防災女性チーム「131(ぼうさい)おとめ隊」が、女性の視点から2力年をかけて検討を進め、策定したものです。
策定にあたっては、女性はもちろん、高齢者や障がい者、子供等、特に配慮を要する方々の不便さや悩みについて考え、その視点に気付けるマニュアル作りを目指して検討を進め、要配慮者それぞれの対応例を掲載し、対応事項を充実させているのが特徴です。

(市長)

マイ・タイムラインの取り組みによる自助の促進を

Q 発災を想定し、家族構成や生活環境にあわせて、いつ、だれが、どのような行動をとるかを時系列で整理した防災行動計画(マイ・タイムライン)を持つことは、自助の促進につながり、ひいては地域防災力向上にも貢献すると考えるがどうか。

A 市民一人一人が家族構成や生活環境などを考慮し、危険な状況等に応じて、避難情報などが発表された場合の行動を整理しておくことは、自分で自分の身を守り、避難をすることで「逃げ遅れゼロ」に向けて効果が期待されるものと考えます。

今後、出前講座、防災研修、防災訓練などでマイ・タイムラインの重要性や必要性等について周知活動を実施していきたいと考えています。
また、本年度作成予定の洪水ハザードマップの啓発面への掲載についても検討していきます。

(総務部長)

質問の主な項目

・環境に優しいまちづくりに
ついて

丸岡 豊和 議員

新政会



市立体育館の老朽化に伴う今後の改修予定は

Q スポーツ施設としてだけでなく、今後、成人式などイベントを行える施設として、また防災施設として、あらゆる方面で市民ニーズの高い施設である市立体育館の改修予定と今後のあり方は。

A 市立体育館は、築後36年が経過し、老朽化が進んでいます。今後の改修予定については、既設照明メーカーの電球製造中止等による対策として、高効率のLED照明への置換に向けた調査を委託し、それに併せて既設天井が現在の建築基準法施行令に基づく技術基準を満たした天井であるのかの確認及び改修が必要な場合の工法の調査も行っています。その結果を受けて、必要な対応を行い、また利用者の利便性・安全性を第一に、災害時の居住性の観点から、将来的には輻射式を含めた空調設備の導入も研究するとともに、坂出市公共施設等総合管理計画に基づいた安全・安心な施設の維持管理に努めていきます。

(教育部長)

し尿処理手数料の徴収方法の現状と今後について

Q し尿処理手数料(し尿くみ取券)を買いに来られるのは高齢の方も多いため、利用しやすいサービスを提供すべきだと考えるがいかがか。また、取扱店舗数が減少傾向にあるが、今後支払い方法を変更する考えは。

A 高齢世帯などで、指定の取扱所にし尿くみ取り券を購入に行ったり、不在の場合に後日市役所等の支払所へ納めに行ったりするのは、手間がかかると感じているご家庭もあるかと思えます。ご在宅であれば、あらかじめ数回分を買い置きしていただければ、くみ取り作業の時に予約することが出来ます。

また、取扱店舗数は、年々減少傾向にあります。また、コンビニエンスストアを1店舗追加しています。
し尿くみ取り券は、長い間市民の方に慣れ親しんだ支払い方法です。で、支払い方法の変更については、今後、坂出市地区衛生組織連合会のご意見や、他市の事例も参考にしながら、本市の実情にあわせて検討していきたいと思えます。

(市民生活部長)

質問の主な項目

・都市環境整備について